

第4回 21世紀 COE 若手研究者研究討論会

プログラム

2008年2月21日(木) 京都大学薬学部記念講堂

9:00 開会の辞

9:10 - 11:20 研究員研究成果発表 **Page: 1-8**

- PD-01 KEGG グローバルパスウェイマップの開発 (p. 1)
奥田 修二郎 (化研・バイオインフォマティクスセンター)
- PD-02 アラインメントとアミノ酸構成比に基づいたサポートベクターマシンによるタンパク質の細胞内局在予測 (p. 2)
田村 武幸 (化研・バイオインフォマティクスセンター)
- PD-03 多種多様なケミカルゲノム情報を統合する統計的学習技術の構築 (p. 3)
志賀 元紀 (化研・バイオインフォマティクスセンター)
- PD-04 タクロリムス代謝物と肝代謝酵素及びトランスポーター発現量の相関解析 (p. 4)
下村 昌寛 (薬学・医療薬剤学分野)

休憩 (10分)

- PD-05 HIV-1 膜融合阻害剤の作用機序解明と創薬展開: 6-ヘリカルバンドル構造の X 線結晶構造解析 (p. 5)
渡部 毅 (薬学・ケモゲノミクス分野)
- PD-06 化合物-タンパク質間相互作用予測のための数理的枠組みの構築 (p. 6)
新島 聡 (薬学・ケモゲノミクス分野)
- PD-07 Development and Application of Newly Designed Bifunctional Organocatalysts (p. 7)
謝 建武 (薬学・薬品分子化学分野)

PD-08 腎臓と精巣における CK2 アイソザイム発現に関する検討 (p. 8)

劉 寧 (薬学・薬理ゲノミクス分野)

11 : 20 - 12 : 30 昼食

12 : 30 - 13 : 45 ポスター発表 **Page: 29-60**

P-01 Pd 触媒を用いたタンデム型 *N*-アリール化-C-H 活性化によるカルバゾールの合成 (p. 29)

渡部 敏明 (薬品有機製造学分野)

P-02 化合物とタンパク質との空間相関モデルを用いた薬物 - CYP 相互作用予測 (p. 30)

小川 哲平 (ケモゲノミクス分野)

P-03 冠唇花 (*Microtoena patchoulii*) 精油成分の生合成と薬理に関する研究 (p. 31)

伊藤 謙 (薬品資源学分野)

P-04 多機能性チオ尿素触媒を用いた不斉 Petasis 反応の研究と生理活性物質探索への応用 (p. 32)

山岡 庸介 (薬品分子化学分野)

P-05 多機能性チオ尿素触媒を用いた不斉マイケル反応の開発と天然物合成への応用 (p. 33)

猪熊 翼 (薬品分子化学分野)

P-06 アルキンへの分子内ヒドロアミノ化反応の開発とイソキノリン誘導体の合成 (p. 34)

榎本 太郎 (薬品分子化学分野)

P-07 酢酸エステルのリチウムエノラートを用いたアセチレンイミンとの不斉マンニッヒ反応の開発と(-)-*Stenine* の不斉全合成研究 (p. 35)

畑 誠司 (薬品合成化学分野)

P-08 銅-Grignard 試薬による不斉共役付加反応をモデル反応としたキラル C_2 対称カルベンリガンドの設計と開発 (p. 36)

松本 安正 (薬品合成化学分野)

P-09 抗菌性ペプチド *magainin 2* の生体膜透過性亢進：細菌と哺乳類細胞で大きく異なる様式 (p. 37)

井村 雄一 (薬品機能解析学分野)

- P-10 X線結晶構造解析を目指した真核生物由来のABCトランスポーターのスクリーニング (p. 38)
崎山 慶太 (構造生物薬学分野)
- P-11 結晶化に適した好熱菌由来ABCトランスポーターのスクリーニング (p. 39)
佐藤 友美 (構造生物薬学分野)
- P-12 Pex3pのTrp104を結合するPex19p Phe29の同定 (p. 40)
佐藤 康彦 (構造生物薬学分野)
- P-13 長鎖遊離脂肪酸による腸管ホルモンの分泌促進作用とその機構に関する研究 (p. 41)
田中 寿樹 (ゲノム創薬科学分野)
- P-14 フローサイトメーターを用いた脂肪酸受容体(GPR40)のリガンド受容体直接相互作用の解析 (p. 42)
原 貴史 (ゲノム創薬科学分野)
- P-15 Apolipoprotein A-IによるpH依存的なモデル膜のHDL化 (p. 43)
福田 正和 (製剤機能解析学分野)
- P-16 アストロサイト細胞におけるトロンビン誘発細胞形態変化に対するCa²⁺ダイナミクスの寄与 (p. 44)
中尾 賢治 (生体機能解析学分野)
- P-17 新規ペプチド性因子の単離と生理活性評価系の確立 (p. 45)
吉田 明日香 (生体分子認識学分野)
- P-18 眼形成における*Fgf19*の役割 (p. 46)
中山 喜明 (遺伝子薬学分野)
- P-19 心臓形成における*Fgf16*の役割 (p. 47)
堀田 祐平 (遺伝子薬学分野)
- P-20 細胞内小胞輸送における低分子量G蛋白質ARFのGDP/GTP交換因子の役割 (p. 48)
石崎 玲 (生体情報制御学分野)
- P-21 マウスマスト細胞の成熟に伴い発現亢進するヒアルロン酸受容体CD44の機能解明 (p. 49)
高野 裕嗣 (生体情報制御学分野)

- P-22 出血性脳障害におけるトロンビンおよび MAP キナーゼ経路の関与 (p. 50)
大西 正俊 (薬品作用解析学分野)
- P-23 カルバメート系コリンエステラーゼ阻害薬による A β 産生抑制機構に関する検討 (p. 51)
高橋 淳 (創薬神経科学講座)
- P-24 免疫活性化 CpG DNA の免疫担当細胞デリバリーに基づく新規腹膜播種免疫療法の開発
(p. 52)
倉本 夕香里 (薬品動態制御学分野)
- P-25 再帰分割法による経口バイオアベイラビリティの構造活性相関解析 (p. 53)
原 秀人 (薬品動態制御学分野)
- P-26 Evaluation of Immune Response Induced by Tissue Injection of Vaccine (p. 54)
関 心 (病態情報薬学分野)
- P-27 アルツハイマー病の分子イメージングを目的とした PET 用 β アミロイドイメージング
プローブの開発 (p. 55)
河合 知喜 (病態機能分析学分野)
- P-28 小腸 *CYP2C19* 遺伝子多型のプロトンポンプ阻害薬とタクロリムスの相互作用に及ぼす
影響に関する研究 (p. 56)
細畑 圭子 (医療薬剤学分野)
- P-29 慢性腎不全進行に伴う近位尿細管局所における遺伝子発現変動プロファイル (p. 57)
西原 久美子 (医療薬剤学分野)
- P-30 薬剤開発の歴史から化学変換パターンの抽出 (p. 58)
重水 大智 (化研・バイオインフォマティクスセンター)
- P-31 An Improved Scoring Scheme for Predicting Glycan Structures from Gene Expression Data
(p. 59)
菅 秋次 (化研・バイオインフォマティクスセンター)
- P-32 A mathematical model for the stochastic decision of apoptosis under oxidative stress (p. 60)
毛利 一成 (化研・バイオインフォマティクスセンター)

座長

山岡 庸介 (薬品分子化学分野)、畑 誠司 (薬品合成化学分野)

O-01 パラジウム触媒を用いたプロパルギルブロミドの連続的閉環反応による二環性複素環の
一挙構築 (p. 9)

岡野 晃典 (ケモゲノミクス分野)

O-02 エナンチオ選択的分子内シアノアミド化反応による α,α -二置換ラクタムの不斉合成研究
(p. 10)

上崎 春陽 (薬品分子化学分野)

O-03 キラルアミノホスファン触媒による分子内不斉アリル化反応 (p. 11)

佐藤 智洋 (薬品合成化学分野)

O-04 吸入投与方法による沈香・甘松香の鎮静活性の検討 (p. 12)

竹元 裕明 (薬品資源学分野)

座長

井村 雄一 (薬品機能解析学分野)、中山 喜明 (遺伝子薬学分野)

O-05 trNOE 法によるアミロイド線維構造解析 (p. 13)

池田 恵介 (薬品機能解析学分野)

O-06 ペルオキシソーム膜蛋白質 PMP22 の X 線結晶構造解析による機能解明 (p. 14)

江川 響子 (構造生物薬学分野)

O-07 ヒト培養細胞株における miRNA の発現解析 (p. 15)

類家 慶直 (薬理ゲノミクス分野)

O-08 長鎖脂肪酸の GPR120 を介したアディポネクチン分泌促進作用 (p. 16)

伊賀 朋世 (薬理ゲノミクス分野)

O-09 皮膚におけるサーカディアンリズムと 17beta-hydroxy dehydrogenase (p. 17)

山田 裕之 (システムバイオロジー分野)

- O-10 小型ペプチド阻害剤による上皮成長因子受容体活性の抑制機構の検討 (p. 18)
阿部 峰大 (製剤機能解析学分野)

休憩 (10 分)

座長

石崎 玲 (生体情報制御学分野)、倉本 夕香里 (薬品動態制御学分野)

- O-11 BSRP トリプル欠損マウスの海馬を介した記憶障害とカルシウムシグナリング異常の
関与 (p. 19)
宇田 篤史 (生体分子認識学分野)

- O-12 小胞体ストレスにおけるアミロイド前駆体蛋白質 C 末端断片の役割に関する研究 (p. 20)
高橋 啓太 (創薬神経科学講座)

- O-13 がんのテーラーメイド医療に貢献するインビボ悪性度イメージング薬剤の開発 (p. 21)
佐野 紘平 (病態機能分析学分野)

- O-14 PC12 細胞におけるプロモクリプチンの神経突起伸長作用 (p. 22)
小田 徹 (薬品作用解析学分野)

- O-15 マウスにおける DNA に対する免疫応答プロファイルの評価 (p. 23)
吉田 寛幸 (病態情報薬学分野)

- O-16 ヒト有機アニオントランスポーター OAT1 及び OAT3 の転写調節に関する研究 (p. 24)
小笠原 健 (医療薬剤学分野)

座長

重水 大智 (化研・バイオインフォマティクスセンター)、中尾 賢治 (生体機能解析学分野)

- O-17 薬物相互作用の解析 (p. 25)
財部 将孝 (化研・バイオインフォマティクスセンター)

- O-18 パラログ遺伝子による代謝反応の基質多様性の解析 (p. 26)
田中 道廣 (化研・バイオインフォマティクスセンター)

- O-19 機械学習を用いた DNA 修復タンパク質識別と分類 (p. 27)
J.B. Brown (化研・バイオインフォマティクスセンター)

O-20 薬物間相互作用データの網羅的解析を目指したデータマイニング手法の開発 (p. 28)
藪内 弘昭 (化研・バイオインフォマティクスセンター)

17:45 閉会の辞